

牛久：学校周辺に見る自然

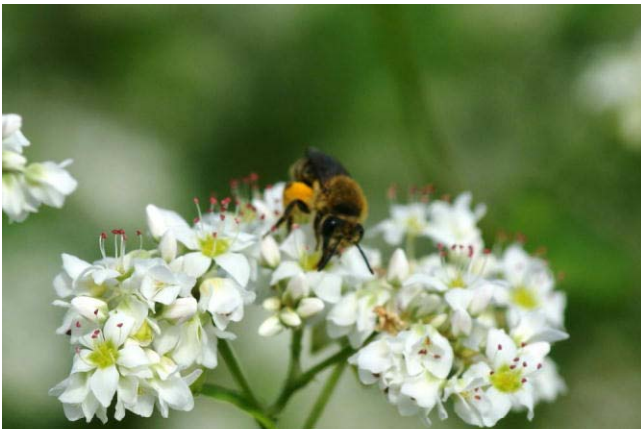
第38号 牛久市福田町他

2010年10月11日発行

＜ソバの花が満開です＞



中根小から牛久二中へ向かう途中、満開のソバ畑のわきを通りました。たくさんのハナバチ（主にミツバチ）やチョウ（キタテハとモンシロチョウ）、そしてスズメガ科のヒメクロホウジャクが花蜜を吸いに来ていました。移動の途中であまり写真を撮っている時間ありませんでしたが、そんな中から2枚、ご紹介しましょう。



左はハナバチの仲間（ニホンミツバチか？）。盛んに蜜を吸いながら花を移動し、花粉を送り届けてくれます。またそうしないと、ソバは実をつけることができません。足のつけ根に見える黄色いかたまりは花粉袋で、ここに集めた花粉は巣に持ち帰り蜜とともに団子状にされ、幼虫などハチの大事な栄養源となるそうです。持ちつ持たれつの関係なのですね。

右はヒメクロホウジャク。ホバリングしながら長いストローを伸ばし蜜を吸います。これだとソバは蜜は吸いとられますが、花粉を運んではもらえませんね。ソバは損するだけ。【理科支援員・宮内】